

使用済みプラスチックの乾式分離技術

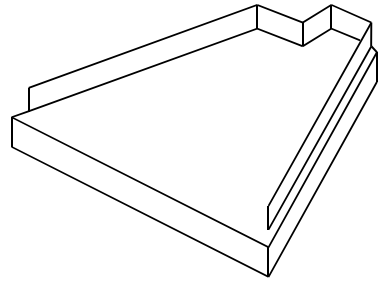
Dry Separation Technology of Waste Plastics

清水 浩 エンジニアリング研究所 燃焼システム研究部 主任研究員
宮澤 智裕 エンジニアリング研究所 燃焼システム研究部
山崎 茂樹 環境開発部 開発推進グループ 主査

Hiroshi Shimizu
Tomohiro Miyazawa
Shigeki Yamazaki

使用済みのプラスチックリサイクルには成分ごとに分離選別する技術が必要である。特に使用済み容器包装プラスチックをリサイクルするには、塩素含有プラスチックを分離選別する技術が必要とされている。当社はプラスチックの種類ごとの熔融温度の違いを利用して、一部目的成分のみを選択的に造粒することで、プラスチック成分間に形状差を与え、エアテーブルによりプラスチックを高精度に分離することを可能とした。

使用済みプラスチックの乾式分離技術



試験結果を Table 2 に示す。完全に溶融したものを○，
変形したものを○，一部変形したものが△である。

Table 2

使用済みプラスチックの乾式分離技術